

游擊

共産主義者同盟政治機関紙

第36号

1977.10.5

定価150円

晋社区局号 沢谷田便4
北游世田箱4
人所 東京千私書0-195783
行行連 振替10回2000円(開封・送料共)
發發連 2500円(密封・送料共)

★帝国主義の腐朽性に抗し、社会帝国主義・社会排外主義と対決して世界革命の最前線へ！
★日帝の朝鮮侵略反革命を国内戦へ転化せよ！
★帝国主義心臓部にプロレタリアートの総蜂起を！

闘うアジア人民と連帯し 日帝の朝鮮侵略反革命・天皇制攻撃を爆碎せよ！

10・14 反帝・反社帝・反霸権 人民集会に大結集せよ

国際・国内階級闘争の大変動は始まっている。カーターは人権外交をかげ、ブレジネフは「緊張緩和」「社会主義大家族」をかげ、そして日帝は「資源確保」「アジア平和外交」をかげて協調と対立、争闘を全世界でくりひろげ、戦争の危機を増大させている。だが、この戦争の要素は、戦後帝王主義世界支配体制の瓦解の促進要素を指摘するまでもなく、インドシ

ナ・人民の反帝民族解放・人民民主主義革命・社会主義建設の勝利的前進こそ革命の要素を促進し、それは帝国主義本国プロレタリアートとの革命闘争を担い抜く強固な党建設と、その任務を革命党の計画的階級形成戦へ一層うちだし組織することのな

きをかげて協調と対立、争闘を全世界でくりひろげ、戦争の危機を増大させている。だが、この戦争の要素は、戦後帝王主義世界支配体制の瓦解の促進要素を指摘するまでもなく、インドシ

ナ・人民の反帝民族解放・人民民主主義革命・社会主義建設の勝利的前進こそ革命の要素を促進し、それは帝国主義本国プロレタリアートとの革命闘争を担い抜く強固な党建設と、その任務を革命党の計画的階級形成戦へ一層うちだし組織することのな

きをかげて協調と対立、争闘を全世界でくりひろげ、戦争の危機を増大させている。だが、この戦争の要素は、戦後帝王主義世界支配体制の瓦解の促進要素を指摘するまでもなく、インドシ

ナ・人民の反帝民族解放・人民民主主義革命・社会主義建設の勝利的前進こそ革命の要素を促進し、それは帝国主義本国プロレタリアートとの革命闘争を担い抜く強固な党建設と、その任務を革命党の計画的階級形成戦へ一層うちだし組織することのな

きをかげて協調と対立、争闘を全世界でくりひろげ、戦争の危機を増大させている。だが、この戦争の要素は、戦後帝王主義世界支配体制の瓦解の促進要素を指摘するまでもなく、インドシ

ナ・人民の反帝民族解放・人民民主主義革命・社会主義建設の勝利的前進こそ革命の要素を促進し、それは帝国主義本国プロレタリアートとの革命闘争を担い抜く強固な党建設と、その任務を革命党の計画的階級形成戦へ一層うちだし組織することのな

きをかげて協調と対立、争闘を全世界でくりひろげ、戦争の危機を増大させている。だが、この戦争の要素は、戦後帝王主義世界支配体制の瓦解の促進要素を指摘するまでもなく、インドシ

ナ・人民の反帝民族解放・人民民主主義革命・社会主義建設の勝利的前進こそ革命の要素を促進し、それは帝国主義本国プロレタリアートとの革命闘争を担い抜く強固な党建設と、その任務を革命党の計画的階級形成戦へ一層うちだし組織することのな

きをかげて協調と対立、争闘を全世界でくりひろげ、戦争の危機を増大させている。だが、この戦争の要素は、戦後帝王主義世界支配体制の瓦解の促進要素を指摘するまでもなく、インドシ

内容の号今

- ★10・14集会に結集せよ
- ★三里塚地区統一実結成へ
- ★全金本山首都圈集会へ
- ★立川基地「返還」粉碎へ
- ★單一綱領への里程論文

ズム潮流—三革共同の（この反スタ・トロッキズム派の階級闘争においてあらわれる態度のちがいはあれ）綱領、路線上の批判を鮮明にしていくことである。これは「新左翼」と称され、その最左翼を形成してきたブンドが「共」との党闘争を日本階級闘争のなかでおこすまでの歴史的到達段階を明らかにするとともに、更に党建設の事業をすすめ日帝打倒、プロ独立をも含めてソ・社帝の北方諸島の占有を容認し、「社会主義国

二百カリイをめぐる日帝・ソ・社帝の対立のなかで、第4インダストリーやアーティストの革命闘争攻撃、その頂点である天皇制、天皇イー

ーをも含めてソ・社帝の北方諸島の占有を容認し、「社会主義国

二百カリイをめぐる日帝・ソ・社帝の対立のなかで、第4インダ

ストリートの國際、国内を貫くういての革新的任務は、帝国主義間抗

デオロギー攻撃と労働者階級、人民が闘争するうえで、このソ

シテ批判は決定的重要性をもつてゐる。これら社帝派の日帝見

樹立・社会主義建設への我々の指針をより大衆的なものにして

いくことである。我々は「遊撃」35号で、「日本プロレタリア

ーをも含めてソ・社帝の北方諸島の占有を容

10・16首都総決起集会へ

10・23～24仙台現地闘争に決起せよ 本山闘争

本山資本・二組の白色テロを糾弾し

去る月四～五日、全金本山仙台現地闘争が、全国の闘う労働者三〇〇名余を結集して圧倒的にかち取られた。

今年初頭、中労委和解の中斷以降、情勢はますます「資本がつぶれるか、組合がつぶれるか」とい

う文字通りの決戦的局面へと突入している。とりわけ、六・二二一

三の現地闘争を起点とした全国闘争の拡大、東富闘争の強化、そ

して富士銀闘争の全国的拡大は、

七月一日の富士銀本店との初交渉を実現させ、着々と暴力労政本山資本の息の根を止める全国包围網として形成されつつある。

このよきな中で、八月一日、同盟、職制、ガードマンの一体となつた白色テロ襲撃が、本山闘争の最前頭で聞かれて来た戦闘

に對して集中的にかけられたのである。まさしく、今回の奇襲的反革命攻撃こそは、この奇襲的反革命攻撃こそは、こ

10・9へ向け地区・統一実を創出せよ！

三里塚秋期決戦体制を打ち固めよ！

八月一八日、千葉市本町公園において、「東山薦君虐殺糾弾」親の恵津さんは詩一篇をうたつた。争議団、諸サーカルをつらぬく弁護団、諸支援団体の發言と統一訴処分策動粉碎・総決起集会が四百人の結集をもつてか

ちとされた。

山君の父親、博氏は「全國からの

司会ではじまり、まず主催者を

代表して戸村委員長が挨拶、北原事務局長の基調報告に統いて、東

の裁判を起こしたのは、私が裁判を起こしたのは、金をどうするのか」という

ある。私が裁判を起こしたのは、人民の決起、政治活性化を革命

金のためではなく、権力の不当性的政治闘争へと領導し、今秋期二

の政治闘争へと领导し、今秋期二

の政治闘争へと领导し、今秋期二

の政治闘争へと领导し、今秋期二

の政治闘争へと领导し、今秋期二

このよきな中で、八月一日、同盟、職制、ガードマンの一体となつた白色テロ襲撃が、本山闘争の最前頭で聞かれて来た戦闘に對して集中的にかけられたのである。まさしく、今回の奇襲的反革命攻撃こそは、この奇襲的反革命攻撃こそは、こ

ととして貫徹し抜いた。また、東京

においても、八月五日仙台での闘

争においても、八月五日仙台での闘

